

漁港内外の砂の動きを正確に計算する

水産土木工学部

研究の背景・目的

砂浜にある漁港では、波や流れにより運ばれた砂が港内に溜まり、水深が浅くなり、漁船の航行や停泊ができなくなることがしばしば起きています。このような現象を防ぐためには漁港周辺の砂の動きを把握することが重要です。

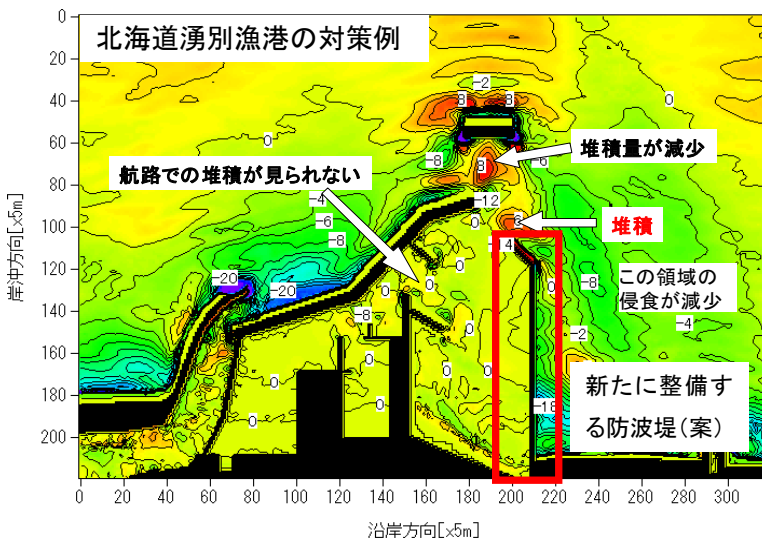
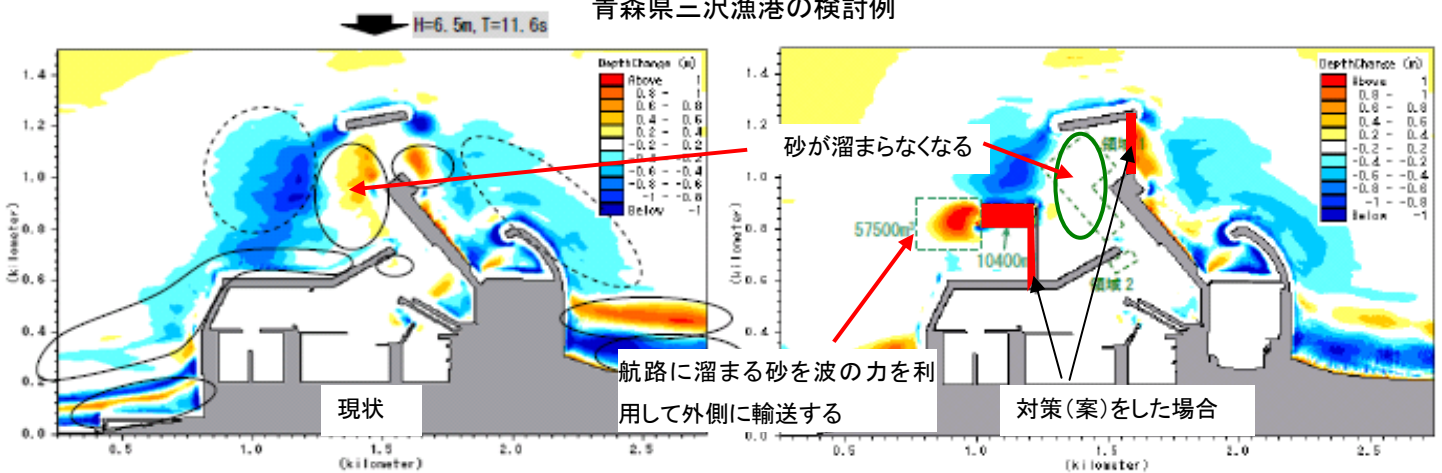
研究成果

波や流れを正確に計算できる方法と砂の巻き上がりや流れによって運ばれていく現象を計算できる方法をあわせて、漁港周辺の砂の動きや水深の変化を計算する方法を新たに開発しました。この方法を用いて幾つかの漁港で砂が漁港内にあまり入らないような整備の仕方を検討しています。

波及効果

砂の溜まりにくい漁港の形や改善対策の検討に役立ちます。また、この技術を技術者に利用して貰う活動をしています。

青森県三沢漁港の検討例



技術普及や共同研究のための会合



(水産基盤グループ: 中山哲蔵)